SD Log Navi
ログナビ

取扱説明書

ed-contrive®
イーディーコントライブ株式会社

目 次

1.はじめに----- 3～6

1-1　Log Navi でできること ----- 3

1-2　動作環境 ----- 3

1-3　基本システム構成 ----- 4

1-4　Log Navi の用語説明 ----- 5

1-5　運用開始までの手順 ----- 6

2.インストール----- 7～11

2-1　標準的なインストール（WEB アプリケーションとデータベースを同一コンピュータ）----- 7

2-2　2 台構成でのインストール----- 8・9

2-3　Windows 2008 Server での通信許可について ----- 10

2-4　Log Navi の環境チェック----- 11

2-5　アンインストール----- 11

3.基本操作----- 12～25

3-1　Log Navi をインストールしているコンピュータからのLog Navi へのログイン ----- 12

3-2　Log Navi をインストールしていないコンピュータからのLog Navi へのログイン ----- 13・14

3-3　利用者新規登録（利用者を 1 人ずつ新規登録する）----- 15

3-4　利用者新規登録（利用者をまとめて新規登録する）----- 16

3-5　利用者情報の編集 ----- 17

3-6　利用者の削除----- 18

3-7　利用者の閲覧・検索 ----- 18

3-8　利用者データエクスポート ----- 19

3-9　ログの閲覧・検索 ----- 20

3-10　ログの種類 ----- 21

3-11　オフライン状態でのログ ----- 22

3-12　未使用者状況検索 ----- 23

3-13　グループ種別名の設定 ----- 24

3-14　管理者情報の変更 ----- 25

4.Log Navi バックアップ設定----- 26

5.Log Navi 過去ログ削除----- 27

6.リストア----- 28

7.SD-Container Log の初期化----- 29

8.ユーザー登録・サポート----- 30

1. はじめに

1-1　Log Navi でできること

Log Navi は、ログ管理を行うサーバに予めインストールしていただくことで、お客様でご利用の SD-Container Log（USB メモリ）の利用者データ（ログ）管理・使用管理等を実施することができます。

SD-Container Log が使用されると操作履歴が利用者データ（ログ）として、ネットワーク経由で Log Navi サーバに蓄積されます。管理者は、WEB ブラウザで Log Navi にログインすることにより、利用者データ（ログ）の確認、ユーザー管理等、自社の USB メモリ使用状況を確認することが可能となります。

1-2　動作環境

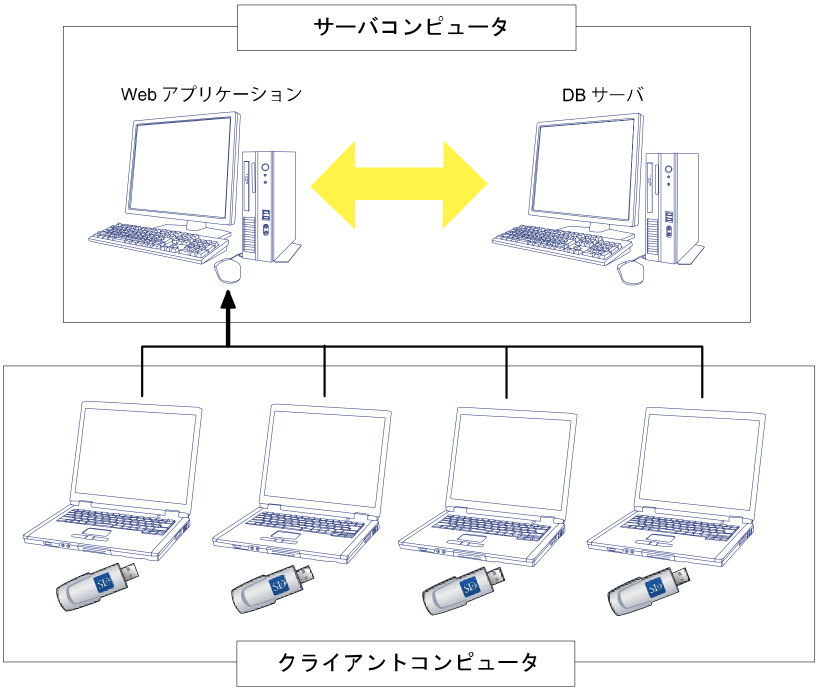
対応 OS	Windows 2003 Server ServicePack2(32bit 版および 64bit 版)日本語版 Windows 2008 Server（32bit 版および 64bit 版）日本語版
CPU	1GHz 以上の Intel Xeon / Pentium / Celeron ファミリ、 AMD Athlon / Opteron ファミリまたは互換性のあるプロセッサ
メモリ	512MB 以上
ハードディスク容量	200MB 以上（フルインストール時） ※上記はインストールに必要なディスク容量になります。 ログを保存するためには、上記以上のディスク容量が必要になります。目安としては、1000 人の社員が 1 日 100 操作した場合、年間で約 24GB 必要になります。
ドライブ	CD-ROM または DVD-ROM
対応ブラウザ	Internet Explorer6.0　/　Internet Explorer7.0
その他	・ネットワークアダプタが必須となります。 ・Log Navi をインストールするコンピュータは、Log Navi 専用機としてご使用ください。

※動作環境に記載されている OS の種類やハードディスク容量等は、OS のサポート終了や弊社の製品改良などにより、予告なく変更となる場合があります。

1. はじめに

1-3　基本システム構成

Log Navi を使用するために必要なシステムは以下のとおりです。
（Log Navi の WEB アプリケーションとデータベースを同一サーバコンピュータ上で実行することも可能です。）



■Log Navi（ログナビ）
SD-Container Log の操作ログを管理するためのサーバ用アプリケーションです。
Log Navi は、WEB アプリケーションとデータベースを 2 台構成もしくは 1 台構成で設定することができます。ミドルウェアとして、Apache2.x、PHP5. x 、MySQL5.x を使用しております。
（ミドルウェアは、Log Navi インストール時に同時にインストールされます。）

■SD-Container Log（エスディー・コンテナログ）
Log Navi に対応した USB メモリです。

■Container Log 管理者ツール（コンテナログ管理者ツール）
SD-Container Log のパスワードポリシー、取得するログ内容等、USB メモリの動作設定を行うツールです。
直接 USB メモリに設定を行うツールではなく、Container Log 管理者ツールで行なった設定を反映させるための**初期化ツール**を作成します。

■初期化ツール
Container Log 管理者ツールで行なった設定を SD-Container Log に反映させるツールです。

1. はじめに

1-4　Log Navi の用語説明

用語（五十音順）	説明
管理者 ID	管理者が Log Navi にログインするための ID です。 Log Navi のインストール時に、お客様で任意に設定します。
管理者パスワード	管理者が Log Navi にログインするためのパスワードです。 Log Navi のインストール時に、お客様で任意に設定します。 管理者パスワードを忘れた場合には、復元できませんのでご注意下さい。
企業 ID	SD-Container Log 上でログ送信先サーバを特定するために必要な情報です。 Log Navi のインストール時に、お客様で任意に設定します。設定後の変更はできません。 利用者が SD-Container Log を初めて利用する際に入力を求められますので、USB メモリ配布時に利用者への告知が必要となります。
グループ名	利用者一覧における表示名です。 Log Navi 上で利用者を特定するための情報です。 Log Navi の「グループ種別名設定」で設定でき（例：事業所、部、課等）、デフォルトでは「グループ名 1」「グループ名 2」「グループ名 3」と設定されています。 各利用者のグループは、Log Navi の「利用者一覧」で設定できます。
個人識別情報	Log Navi 上で利用者を特定するための情報です。 USB メモリと 1 対 1 で対応します。Log Navi ユーザー企業内においてユニークである必要があります。 Log Navi の「利用者一覧」で設定できます。設定後の変更はできません。 利用者が SD-Container Log を初めて利用する際に入力を求められますので、USB メモリ配布時に利用者への告知が必要となります。
DB 管理者パスワード	データベースに設定するパスワードです。 Log Navi のインストール時に、お客様で任意に設定します。 Log Navi では操作中にパスワードの入力を求められることはありませんが、パスワードは復元・変更できませんのでご注意下さい。
USB 個別 ID	Log Navi 上で USB メモリを特定するための情報です。 個人識別情報と 1 対 1 で対応します。Log Navi ユーザー企業内においてユニークである必要があります。 Log Navi の「利用者一覧」で設定できます。設定後の変更はできません。
USB シリアル No	USB メモリを特定するための情報です。USB メモリ添付シールに表示されています。 利用者が SD-Container Log を初めて利用する際に入力を求められます。

1. はじめに

1-5　運用開始までの手順

Log Navi ご購入後の、運用開始までの手順について説明します。

管理者と表示されている項目は、管理者において行う作業です。
利用者と表示されている項目は、利用者において行う作業です。

1.　管理者 Log Navi のインストール

Log Navi 専用機としてお使いになるコンピュータに Log Navi をインストールします。(インストール手順は、P.7～11 をご参照ください。)

2.　管理者 Log Navi へのログイン

Log Navi インストール時に設定した管理者 ID/管理者パスワードで、Log Navi にログインします。(ログイン方法は、P.12～14 をご参照ください。)

3.　管理者 **利用者データの登録**

SD-Container Log（USB メモリ）利用者と SD-Container Log を関連づけるために、個人識別情報、利用者のグループ名（例：所属部署など)、USB 個別 ID を設定します。(登録手順は、P.15・16 をご参照ください。)

メモ	* グループ種別名は、「グループ種別名設定」から変更可能です。(変更方法は、P.24 をご参照ください。)

4.　管理者 **SD-Container Log（USB メモリ）と初期登録に必要な情報の配布**

SD-Container Log 利用者に対して、USB メモリ本体と、SD-Container Log 使用開始時の初期登録に入力が必要な情報を配布します。

管理者から利用者に配布が必要な情報	企業 ID 個人識別情報
その他、初期登録時に入力が必要な情報	USB シリアル No（USB メモリ本体に貼付）

5.　利用者 **利用者による SD-Container Log の初期登録**

SD-Container Log 取扱説明書（別紙）に従って、初期登録をします。

6.　**利用者データ（ログ）の取得開始**

利用者が SD-Container Log の初期登録を完了後、対象 SD-Container Log の利用者データ（ログ）の記録が開始されます。

2. インストール

2-1 標準的なインストール（WEB アプリケーションとデータベースを同一コンピュータ）

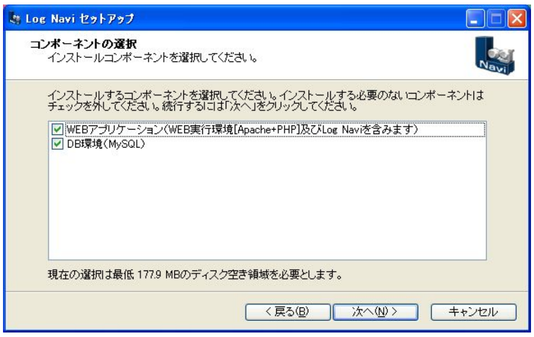
WEB アプリケーションとデータベースを一つのコンピュータにインストールする場合の方法を説明します。

注意	＊WEB サーバ､MySQL が既に起動している場合には､インストーラが起動しません｡Log Navi で使用するコンピュータは、Log Navi の専用機としてご使用ください。

1. コンピュータの CD-ROM ドライブに Log Navi の CD を挿入します。

2. CD-ROM ドライブの[LogNaviInst_xxx.exe]（ファイル名の xxx にはバージョン番号が入ります。）をダブルクリックします。インストーラに従って操作してください。

3. WEB アプリケーションとデータベースを同一のコンピュータにインストールする場合には、コンポーネントの選択で「WEB アプリケーション（WEB 実行環境[Apache+PHP]及び Log Navi を含みます)」と「DB 環境（MySQL)」の両方にチェックをつけたまま「次へ」をクリックします。



4. インストーラに従って､「DB 管理者パスワード」､「企業 ID」､「管理者 ID」､「管理者パスワード」を設定し、最後に[インストール]をクリックするとインストールされます。

設定可能な文字数、文字種は以下になります。

DB 管理者パスワード	半角英数、－（ハイフン)、_（アンダーバー）	4 文字以上
企業 ID	半角英数、－（ハイフン)、_（アンダーバー）	1～8 文字以内
管理者 ID	半角英数、－（ハイフン)、_（アンダーバー）	1～8 文字以内
管理者パスワード	半角英数、－（ハイフン)、_（アンダーバー）	4～16 文字以内

注意	＊ 一度設定した DB 管理者パスワード、企業 ID の復元・変更はできません。 ＊Log Navi は、ポート 80、ポート 443、ポート 3306 を使用しますので、パーソナルファイアフォールでの通信が許可されている必要があります。 ＊ Windows 2008 Server では、Windows ファイアフォールのデフォルト設定で通信が許可されていません。P.10 の手順に従って設定を行なってください。

5. インストール完了後､Log Navi のインストールディレクトリ「C:¥lognavi¥」配下へライセンスファイル「lognavi.lic」をコピーします。

2. インストール

2-2　2台構成でのインストール

WEBアプリケーションとデータベースを別々のコンピュータにインストールする場合の方法を説明します。**インストールの順番は、データベース（DB環境）→WEBアプリケーションの順で行なってください。**

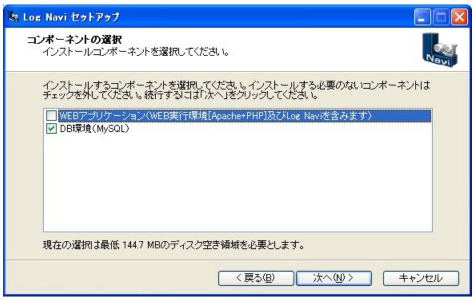
注意	＊WEBサーバ、MySQLが既に起動している場合には、インストーラが起動しません。Log Naviで使用するコンピュータは、Log Naviの専用機としてご使用ください。

データベース（DB環境）のインストール

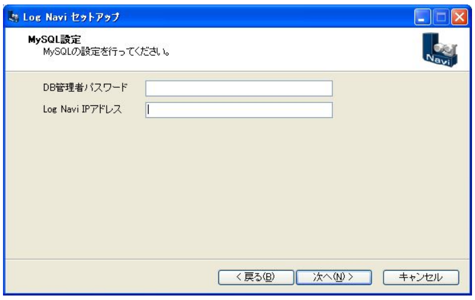
1. データベース用として使用するコンピュータのCD-ROMドライブにLog NaviのCDを挿入します。

2. CD-ROMドライブの[LogNaviInst_xxx.exe]（ファイル名のxxxにはバージョン番号が入ります。）をダブルクリックします。インストーラに従って操作してください。

3. コンポーネントの選択で「WEBアプリケーション」のチェックを外し、「DB環境」のみにチェックをつけ、[次へ]をクリックします。



4. 「DB管理者パスワード」を任意で設定し、「Log Navi IPアドレス」を入力します。
「Log Navi IPアドレス」は、WEBアプリケーションをインストールしたコンピュータのIPアドレスを入力してください。
（名前解決が出来る環境であれば、ホスト名を指定することも可能です。）



5. 「企業 ID」、「管理者 ID」、「管理者パスワード」を設定し、確認画面で[インストール]をクリックするとインストールされます。

設定可能な文字数、文字種は以下になります。

DB管理者パスワード	半角英数、－（ハイフン）、_（アンダーバー）	4文字以上
企業ID	半角英数、－（ハイフン）、_（アンダーバー）	1～8文字以内
管理者ID	半角英数、－（ハイフン）、_（アンダーバー）	1～8文字以内
管理者パスワード	半角英数、－（ハイフン）、_（アンダーバー）	4～16文字以内

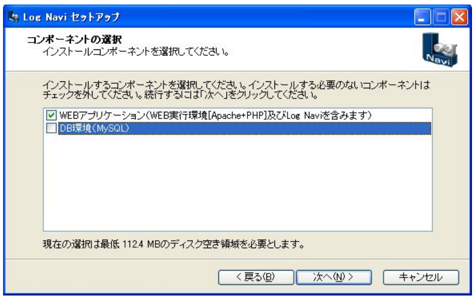
2. インストール

WEB アプリケーションのインストール

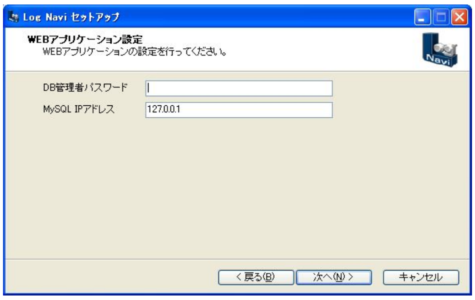
1. WEB アプリケーションをインストールするコンピュータの CD-ROM ドライブに Log Navi の CD を挿入します。

2. CD-ROM ドライブの[LogNaviInst_xxx.exe]（ファイル名の xxx にはバージョン番号が入ります。）をダブルクリックします。インストーラに従って操作してください。

3. コンポーネントの選択で「DB 環境」のチェックを外し、「WEB アプリケーション」のみにチェックをつけ、[次へ]をクリックします。



4. DB 環境のインストール時に設定した「DB 管理者パスワード」と「MySQL IP アドレス」を入力します。
「MｙSQL IP アドレス」は、DB 環境（MySQL）をインストールしたコンピュータの IP アドレスを入力してください。
（名前解決が出来る環境であれば、ホスト名を指定することも可能です。）



5. 確認画面で[インストール]をクリックするとインストールされます

注意	＊一度設定した DB 管理者パスワード、企業 ID の復元・変更はできません。 ＊Log Navi は、ポート 80、ポート 443、ポート 3306 を使用しますので、パーソナルファイアフォールでの通信が許可されている必要があります。 ＊Windows 2008 Server では、Windows ファイアフォールのデフォルト設定で通信が許可されていません。P.10 の手順に従って設定を行なってください。

メモ	＊Log Navi インストーラで Log Navi コンポーネント（WEB アプリケーションもしくは DB 環境のいずれか１つをインストールした場合も含む）をインストールしたコンピュータに対して、再度 Log Navi インストーラを適用する場合には、既にインストール済みの Log Navi コンポーネントをアンインストールした上で、Log Navi インストーラをご使用ください。

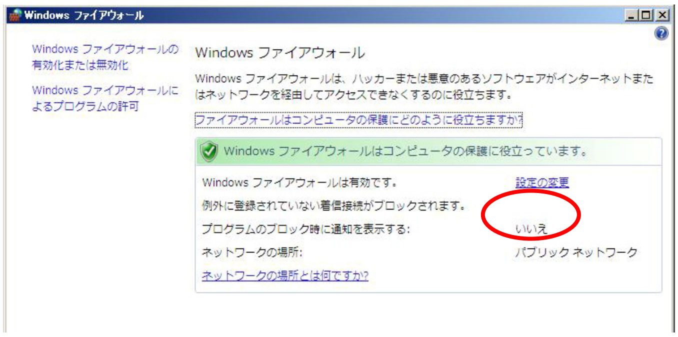
6. インストール完了後、Log Navi のインストールディレクトリ「C:¥lognavi¥」配下へライセンスファイル「lognavi.lic」をコピーします。

2. インストール

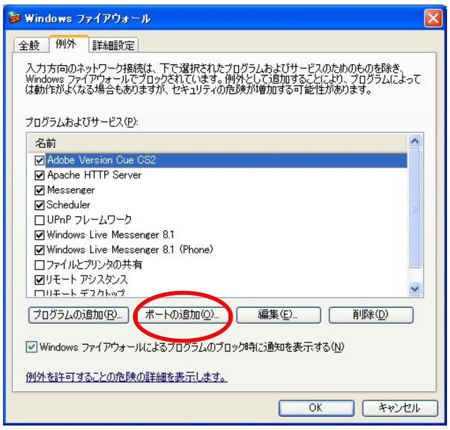
2-3　Windows 2008 Server での通信許可について

Windows 2008 Server では、Windows ファイアフォールのデフォルト設定で通信が許可されていないため、Log Navi インストール時に通信許可の設定を行なってください。

1. [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[Windows ファイアフォール]を選択し、[設定の変更]をクリックします。

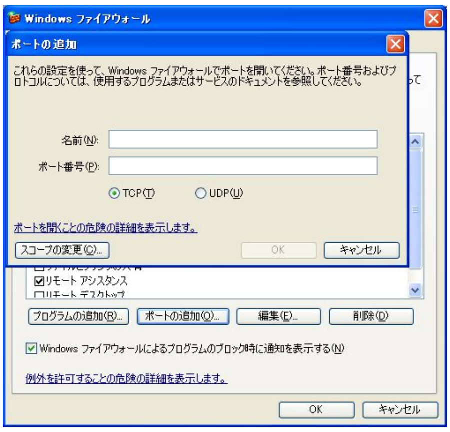


2. 「例外」タブの[ポートの追加]をクリックします。



3.　ポート追加画面が表示されたら、下記の３つのポート番号を追加します。名前は任意で設定してください。

名前	ポート番号	
HTTP	80	TCP
HTTPS	443	TCP
MySQL	3306	TCP

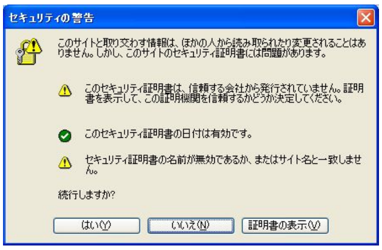


2. インストール

2-4　Log Navi の環境チェック

Log Navi のインストールが終わりましたら、Log Navi が正常にインストールされ、WEB アプリケーションからデータベースに正常に接続できるかどうか環境チェックを行なって下さい。

[スタート]→[プログラム]→[ED-CONTRIVE]→[Log Navi]→[環境チェック]をクリックします。
暗号化通信を行う際の、証明書に関するセキュリティの警告メッセージが表示されますので、[はい] もしくは[このサイトの閲覧を続行する]をクリックします。



「企業 ID」「管理者 ID」「管理者パスワード」欄に「DB に接続できなかった為、取得できません。」というメッセージが表示された場合には、DB 環境（MySQL）をインストールしたコンピュータに接続できていません。以下の原因が考えられますので、必要に応じて、Log Navi の再インストールを行なってください。

- IP アドレスが間違っている
- DB 管理者パスワードが間違っている
- ファイアフォールでのフィルタリング
- ネットワーク接続がされていない
- データベースがインストールされていない

2-5　アンインストール

1. [スタート]→[プログラム]→[ED-CONTRIVE]→[Log Navi]→[アンインストール]をクリックします。

2. Log Navi アンインストールのメッセージが表示されますので、メッセージに従ってアンインストールしてください。

メモ	＜利用者データ（ログ）を保存する場合＞ ＊ データベースに蓄積されている MySQL データの削除の有無を確認するメッセージが表示されますので、利用者データを削除する場合には[はい]を、利用者データを保存する場合には[いいえ]をクリックします。 ＊ MySQL データを保存した場合、利用者一覧、利用者データが保存されます。 ＊ 保存した MySQL データを利用するためには、アンインストール前と同じ企業 ID に設定する必要があります。アンインストール前と異なる企業 ID を設定した場合には、保存した MySQL データは利用できません。

3. 基本操作

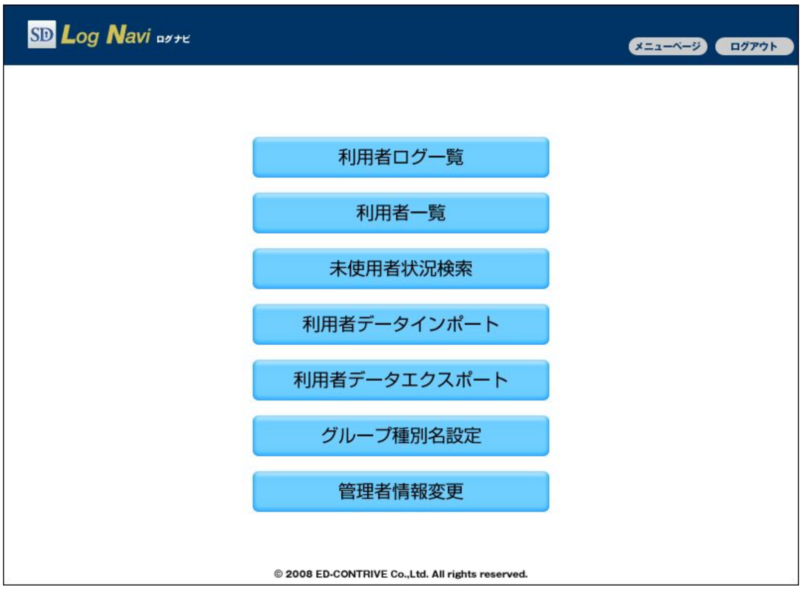
3-1　Log Navi をインストールしているコンピュータからの Log Navi へのログイン

1. [スタート]→[プログラム]→[ED-CONTRIVE]→[Log Navi]→[Log Navi]をクリックし、WEB ブラウザ(**Internet Explorer6.0 もしくは Internet Explorer7.0**)を起動します。

2. ログイン画面が表示されますので、管理者 ID とパスワードを入力し、Log Navi にログインします。

メモ	＊ ログイン用の ID とパスワードは変更可能です。ID とパスワードの変更方法については、P.25 の管理者情報変更をご参照ください。

3. メニュー画面が表示されますので、ご利用のメニューボタンをクリックしてください。



利用者ログ一覧―――――――――――ログの閲覧・検索が可能です
利用者一覧――――――――――――――利用者の新規登録、編集、削除、確認が可能です
未使用者状況検索―――――――――SD-Container Log の未使用者の検索・閲覧が可能です
利用者データインポート―――――利用者を CSV 形式でまとめて新規登録することが可能です
利用者データエクスポート―――利用者情報を CSV でダウンロードすることが可能です
グループ種別名設定――――――――グループ名を３つまで設定することが可能です
管理者情報変更―――――――――――Log Navi にログインするための ID とパスワードの変更が可能です

3. 基本操作

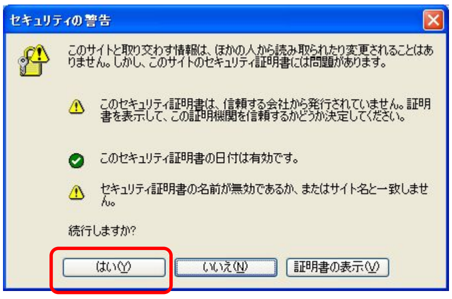
3-2 Log Navi をインストールしていないコンピュータからの Log Navi へのログイン

1. WEB ブラウザ（Internet Explorer6.0 もしくは Internet Explorer7.0）を起動します。

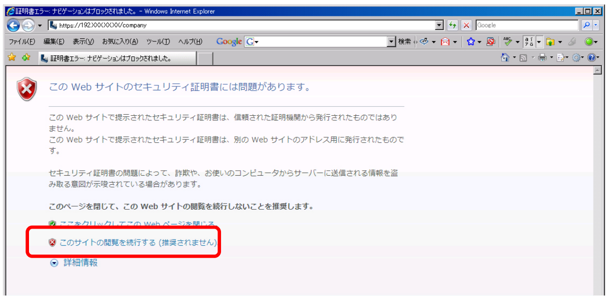
2. アドレスバーに以下のような URL を入力します。(斜体箇所は、お客様環境によって異なります。)

https://*Log Navi (WEB アプリケーション)をインストールしたコンピュータの IP アドレス*/company

3. 暗号化通信を行う際の、証明書に関するセキュリティの警告メッセージが表示されますので、[はい]もしくは[このサイトの閲覧を続行する]をクリックします。



Internet Explorer6.0 の場合



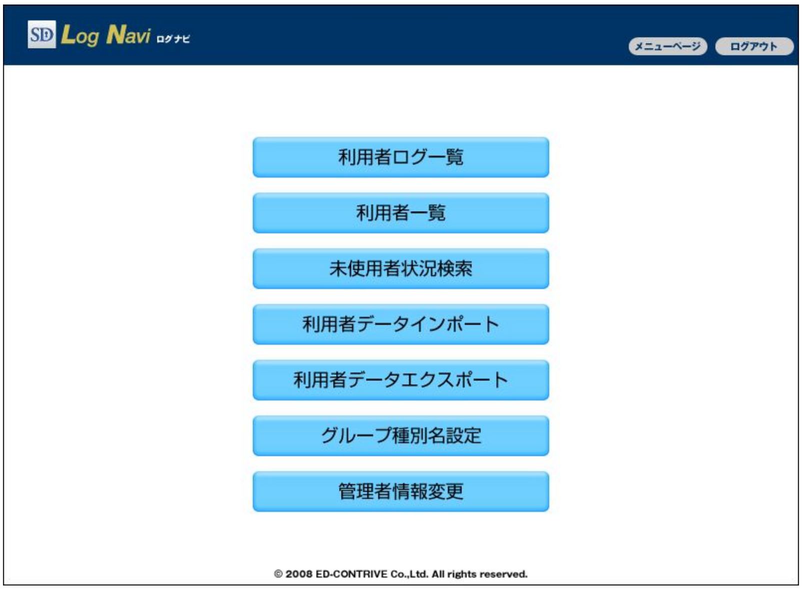
Internet Explorer7.0 の場合

4. ログイン画面が表示されますので、管理者 ID とパスワードを入力し、Log Navi にログインします。

メモ	＊ ログイン用の ID とパスワードは変更可能です。ID とパスワードの変更方法については、P.25 の管理者情報変更を参照ください。

3.基本操作

5. メニュー画面が表示されますので、ご利用のメニューボタンをクリックしてください。



利用者ログ一覧	ログの閲覧・検索が可能です
利用者一覧	利用者の新規登録、編集、削除、確認が可能です
未使用者状況検索	SD-Container Log の未使用者の検索・閲覧が可能です
利用者データインポート	利用者を CSV 形式でまとめて新規登録することが可能です
利用者データエクスポート	利用者情報を CSV でダウンロードすることが可能です
グループ種別名設定	グループ名を３つまで設定することが可能です
管理者情報変更	Log Navi にログインするための ID とパスワードの変更が可能です

3. 基本操作

3-3　利用者新規登録（利用者を１人ずつ新規登録する）

1. メニューページの[利用者一覧] をクリックし、右上にある[利用者新規登録] をクリックします。

2. 利用者新規登録画面が表示されますので、必要情報を入力し、[入力確認] をクリックします。

有効性	対象となる SD-Container Log の使用に関する設定です。 有効＝使用可能状態にします。 無効＝使用禁止状態にします。
グループ１～３	対象となる利用者のグループ（例：所属部署名など）を 40 文字以内で設定してください。
個人識別情報	利用者を特定するための情報です。USB と 1 対 1 で対応します。 利用者が SD-Container Log を初めて利用する際に入力を求められますので、USB メモリ配布時に利用者への告知が必要になります。 24 文字以内で設定してください。 一度設定すると変更ができませんのでご注意ください。
USB 個別 ID	USB メモリを特定するための情報です。個人識別情報と 1 対 1 で対応します。 半角英数、－（ハイフン）、＿（アンダーバー）で、10 文字以内で設定してください。 一度設定すると変更ができませんのでご注意ください。

3. 確認画面が表示されますので、よろしければ[確定] をクリックすると利用者登録が完了し、利用者一覧に反映されます。
SD-Container Log の利用者に対し、USB メモリと「企業 ID」「個人識別情報」を配布し、利用者が初期登録を完了するとログ情報の取得が開始されます。

3. 基本操作

3-4　利用者新規登録（利用者をまとめて新規登録する）

1. メニューページの[利用者データインポート］をクリックします。

2. 利用者データをCSV形式で一括インポートします。[参照］で対象ファイルを指定し、[入力確認]をクリックします。確認画面が表示されますので、[確定］をクリックします。

注意	＊ すでに登録されている利用者/USB メモリに追加する形となりますので、既存利用者と同じ USB 個別 ID、個人識別情報が存在する場合はインポートできません。 ＊ インポートファイルは CSV（S-JIS）形式に対応しています。

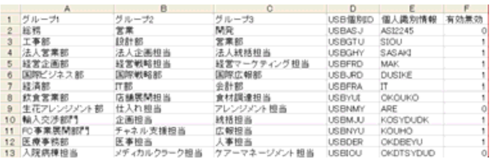
指定された形式で CSV ファイルをインポートすると利用者一覧に反映されます。
グループ 1、グループ 2、グループ 3、USB 個別 ID、個人識別情報、有効無効の 5 項目をカンマ区切り（ , ）の CSV 形式で作成してください。

メモ	＊ 1 行目はヘッダ行として無視されます。 ＊ 有効無効は、無効は 0 で、有効は 1 で記載してください。

インポートファイルの例

```
グループ1,グループ2,グループ3,USB個別ID,個人識別情報,有効無効
総務,営業,開発,USBASJ,ASI2245,0
工事部,設計部,営業部,USBGTU,SIOU,1
法人営業部,法人企画担当,法人統括担当,USBGHY,SASAKI,1
経営企画部,経営戦略担当,経営マーケティング担当,USBFRD,MAK,1
国際ビジネス部,国際戦略部,国際広報部,USBJRD,DUSIKE,1
経済部,IT部,会計部,USBFRA,IT,1
飲食営業部,店舗展開担当,食材調達担当,USBYUI,OKOUKO,1
生花アレンジメント部,仕入れ担当,アレンジメント担当,USBNMY,ARE,0
輸入交渉部門,企画担当,統括担当,USBMJU,KOSYDUDK,1
```

アップロード用 CSV ファイル



CSV 編集ソフトウェアでの表示

3-5　利用者情報の編集

1. メニューページの[利用者一覧］をクリックし、対象利用者の操作項目の[編集］をクリックします。

No	登録日	グループ1	グループ2	グループ3	個人識別情報	USB個別ID	USBシリアルNO	有効無効	操作	削除
1	2008/05/22	入院病棟担当	メディカルクラーク担当	ケアーマネージメント担当	OKDTSYDUD	USBIOU	初期登録がまだです	×	編集	☐
2	2008/05/22	医療事務部	医事担当	人事担当	OKDBEYU	USBDER	初期登録がまだです	○	編集	☐
3	2008/05/22	FC事業展開部門	チャネル支援担当	広報担当	KOUHO	USBNYU	初期登録がまだです	○	編集	☐
4	2008/05/22	輸入交渉部門	企画担当	統括担当	KOSYDUDK	USBMJU	初期登録がまだです	○	編集	☐
5	2008/05/22	生花アレンジメント部	仕入れ担当	アレンジメント担当	ARE	USBNMY	初期登録がまだです	×	編集	☐
6	2008/05/22	飲食営業部	店舗展開担当	食材調達担当	OKOUKO	USBYUI	初期登録がまだです	○	編集	☐
7	2008/05/22	経済部	IT部	会計部	IT	USBFRA	初期登録がまだです	○	編集	☐
8	2008/05/22	国際ビジネス部	国際戦略部	国際広報部	DUSIKE	USBJRD	初期登録がまだです	○	編集	☐
9	2008/05/22	経営企画部	経営戦略担当	経営マーケティング担当	MAK	USBFRD	初期登録がまだです	○	編集	☐

2. 利用者閲覧・編集画面が表示されますので、編集後、［入力確認］をクリックします。
編集が可能な項目は、「有効性」「グループ 1」「グループ 2」「グループ 3」です。

注意	＊ グループ 1～3 は 40 文字以内で設定してください。

3. 確認画面が表示されますので、[確定]をクリックします。

メモ	＊ グループ種別名（デフォルトは「グループ 1」「グループ 2」「グループ 3」で設定されています。）は、「グループ種別名設定」から変更可能です。（変更方法は、P. 24 をご参照ください。）

3. 基本操作

3-6　利用者の削除

1. メニューページの[利用者一覧] をクリックし、対象利用者の[削除] をチェックします。

No	登録日	グループ1	グループ2	グループ3	個人識別情報	USB個別ID	USBシリアルNO	有効無効	操作	削除
1	2008/05/22	入院病棟担当	メディカルクラーク担当	ケアーマネージメント担当	OKDTSYDUD	USBIOU	初期登録がまだです	×	編集	□
2	2008/05/22	医療事務部	医事担当	人事担当	OKDBEYU	USBDER	初期登録がまだです	○	編集	□
3	2008/05/22	FC事業展開部門	チャネル支援担当	広報担当	KOUHO	USBNYU	初期登録がまだです	○	編集	□
4	2008/05/22	輸入交渉部門	企画担当	統括担当	KOSYDUDK	USBMJU	初期登録がまだです	○	編集	□
5	2008/05/22	生花アレンジメント部	仕入れ担当	アレンジメント担当	ARE	USBNMY	初期登録がまだです	×	編集	□
6	2008/05/22	飲食営業部	店舗展開担当	食材調達担当	OKOUKO	USBYUI	初期登録がまだです	○	編集	□
7	2008/05/22	経済部	IT部	会計部	IT	USBFRA	初期登録がまだです	○	編集	□
8	2008/05/22	国際ビジネス部	国際戦略部	国際広報部	DUSIKE	USBJRD	初期登録がまだです	○	編集	□
9	2008/05/22	経営企画部	経営戦略担当	経営マーケティング担当	MAK	USBFRD	初期登録がまだです	○	編集	□

2. 画面右下にある[チェックした利用者を削除] をクリックします。

注意	＊ 利用者の削除を行ってもログは消去されません。 ＊ 削除した利用者と同じ USB 個別 ID を使用した場合、記録されたログが新規に登録した情報で書き換えられて表示されます。同じ利用者/USB メモリとして管理する場合を除き、新規に利用者を登録する際は、過去に登録したことのある USB 個別 ID は使用しないで下さい。

3. 確認画面が表示されますので、よろしければ[確定] をクリックします。

3-7 利用者の閲覧・検索

メニューページの[利用者一覧] をクリックし、「検索条件」、「ソート条件」を設定し、[上の条件で検索] をクリックします。

No	登録日	グループ1	グループ2	グループ3	個人識別情報	USB個別ID	USBシリアルNO	有効無効	操作	削除
1	2008/05/22	入院病棟担当	メディカルクラーク担当	ケアーマネージメント担当	OKDTSYDUD	USBIOU	初期登録がまだです	×	編集	□
2	2008/05/22	医療事務部	医事担当	人事担当	OKDBEYU	USBDER	初期登録がまだです	○	編集	□
3	2008/05/22	FC事業展開部門	チャネル支援担当	広報担当	KOUHO	USBNYU	初期登録がまだです	○	編集	□
4	2008/05/22	輸入交渉部門	企画担当	統括担当	KOSYDUDK	USBMJU	初期登録がまだです	○	編集	□
5	2008/05/22	生花アレンジメント部	仕入れ担当	アレンジメント担当	ARE	USBNMY	初期登録がまだです	×	編集	□
6	2008/05/22	飲食営業部	店舗展開担当	食材調達担当	OKOUKO	USBYUI	初期登録がまだです	○	編集	□
7	2008/05/22	経済部	IT部	会計部	IT	USBFRA	初期登録がまだです	○	編集	□
8	2008/05/22	国際ビジネス部	国際戦略部	国際広報部	DUSIKE	USBJRD	初期登録がまだです	○	編集	□
9	2008/05/22	経営企画部	経営戦略担当	経営マーケティング担当	MAK	USBFRD	初期登録がまだです	○	編集	□
10	2008/05/22	法人営業部	法人企画担当	法人統括担当	SASAKI	USBGHY	初期登録がまだです	○	編集	□
11	2008/05/22	工事部	設計部	営業部	SIOU	USBGTU	初期登録がまだです	○	編集	□

3.基本操作

3-8 利用者データエクスポート

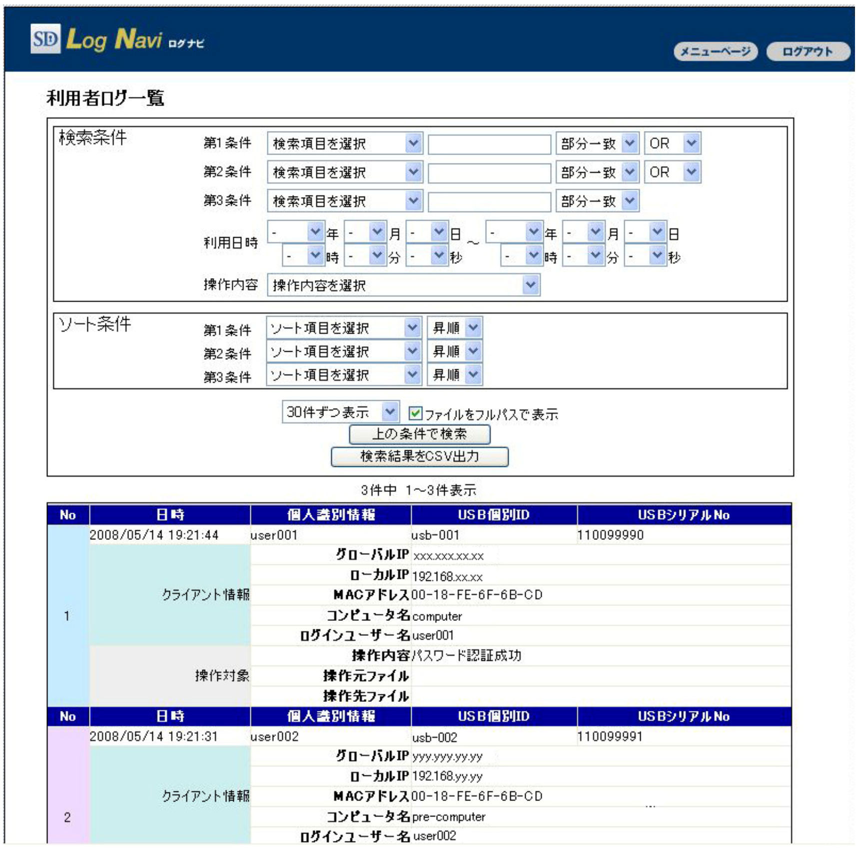
Log Navi に登録している利用者のデータ一覧を CSV 形式で出力します。
［ダウンロード］をクリックし、パソコンに保存してご利用ください。

メモ	＊ 出力される CSV ファイルに含まれる内容はグループ 1、グループ 2、グループ 3、USB 個別 ID、個人識別情報、USB シリアル No、利用者の有効性です。

3. 基本操作

3-9 ログの閲覧・検索

メニューページの[利用者ログ一覧] をクリックします。
利用者ログ一覧が表示され、最新のログから順番に表示されます。



<u>表示方法の変更</u>

- 30 件、50 件、100 件で表示するログ情報の数を変更できます。
- 「ファイルをフルパスで表示」のチェックを外すと、「操作元ファイル」「操作先ファイル」欄にはファイル名のみ表示します。

<u>条件による検索</u>

検索条件、ソート条件を設定し、[上の条件で検索] をクリックすると、設定した検索条件とソート条件に沿ってログが表示されます。

<u>CSV出力</u>

[検索結果を CSV 出力] をクリックすると、検索結果を CSV 形式で出力できます。
出力した CSV ファイルはダウンロードいただけますので、CSV 編集ソフトでの加工等を行うことにより、お客様の用途に合わせた管理にご利用いただけます。

3. 基本操作

3-10 ログの種類

SD-Container Log で取得可能なログの種類は以下のとおりです。なお、Container Log 管理者ツールで取得対象外としたログについては、“―” と表示されます。
ログ情報は、サーバの許容容量まで蓄積することが可能です。

ログの種類		内容
日時		操作を実施した日時
個人識別情報		―
USB 個別 ID		―
USB シリアル No		SD-Container Log 本体添付シールに記載のユニークな番号
グローバル IP		ログ送信元のグローバル IP アドレス ※1
ローカル IP		操作を実施したパソコンの IP アドレス ※2
MAC アドレス		操作を実施したパソコンの MAC アドレス ※2
コンピュータ名		操作を実施したパソコンのコンピュータ名
ログインユーザー名		操作を実施したパソコンのユーザー名
操作内容	SDC.exe の実行	SD-Container Log の使用開始
	SDC.exe の終了	SD-Container Log の使用終了
	パスワード認証成功	―
	パスワード認証失敗	―
	パスワード変更	―
	ファイル・フォルダの暗号化	SD-Container Log へのファイル・フォルダの保存（暗号化） 新規フォルダ作成も含む
	ファイル・フォルダの復号化	SD-Container Log からのファイル・フォルダの保存（復号化）
	ファイル・フォルダの削除	SD-Container Log 内のファイル・フォルダの削除
	ファイル・フォルダのリネーム	SD-Container Log 内のファイル名・フォルダ名の変更
	ファイル・フォルダの移動	SD-Container Log 内でのファイル・フォルダの移動
	ファイルの閲覧	ファイルの閲覧 ※3
	ファイルの編集	ファイルの編集 ※3
	全データ削除	ツール →[すべてのデータを削除] を使用したデータ一括削除 ※4
	データ強制削除	利用者無効化時の操作によるデータの強制削除完了 ※5
	初期登録完了	SD-Container Log の初期登録の完了
	パスワード失敗回数超過によるデータ削除	パスワード失敗回数超過によるデータ削除 ※6
	初期化開始	初期化ツールによる初期化開始 ※7
	初期化終了	初期化ツールによる初期化終了 ※7
操作元対象ファイル名		ファイルパスを含む実施操作元のファイル名
操作先対象ファイル名		ファイルパスを含む実施操作先のファイル名

※1 グローバル IP アドレスは、操作時の環境ではなく、ログが送信された環境での Log Navi から見た送信元アドレスが記録されます。
※2 操作したパソコンでアドレスが取得できない場合は、Log Navi サーバでは、IP アドレスは “ 0:0:0:0:0:0:0:0 ”、MAC アドレスは “00-00-00-00-00-00 ” と表示されます。
※3 Container Log 管理者ツールで閲覧・編集機能を有効にしている必要があります。
※4 データ一括削除の場合は、削除したフォルダ・ファイルに関する情報はログとして記録されません。
※5 Container Log 管理者ツールで「ユーザー無効化時にメモリ内のデータを強制削除させる。」を有効にしている必要があります。
※6 パスワード認証失敗制限回数の設定を行なっている必要があります。
※7 初期化ツール実行時に、［完全初期化を行う］をチェックして完全初期化を行った場合は、USB メモリ内のユーザー情報も消去されるため、ログには記録されません。

3. 基本操作

3-11　オフライン状態でのログ

SD-Container Log を Log Navi サーバと通信できないオフライン環境下でご利用いただいた場合は、USB メモリ内にログを保存※します。
USB メモリ内に保存されたログは、オンライン状態で記録されたログと下記の違いがあります。

<u>オフライン状態で使用されたときのログについて</u>

- Log Navi サーバへログの送信が出来ないため、USB メモリ内にログが保存されます。
- USB メモリ内に保存されたログは、次回オンライン状態で SD-Container Log が使用されたときに Log Navi サーバへ送信されます。
- グローバル IP アドレスは、操作時の環境ではなく、ログが送信された環境での Log Navi から見た送信元アドレスが記録されます。
- USB メモリ内に保存されるログの量には上限値※があります。上限値に達した SD-Container Log は、USB メモリ内のログを Log Navi サーバに送信するまで使用できない状態になります。

※ SD-Container Log のデフォルト設定の動作です。オフライン時の動作は、Container Log 管理者ツールでの設定により異なります。詳細は、Container Log 管理者ツールの取扱説明書をご参照ください。

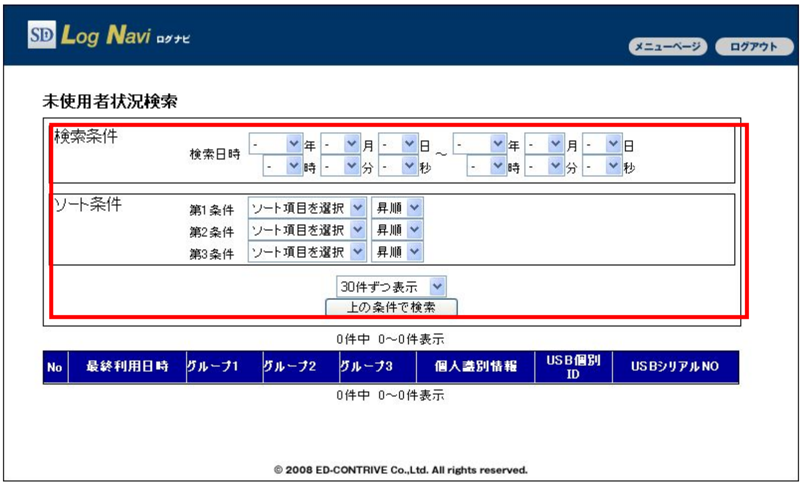
メモ	＊ 操作したパソコンでアドレスが取得できない場合は、SD-Container Log サーバでは IP アドレスは “0:0:0:0:0:0:0:0”、MAC アドレスは “00-00-00-00-00-00” と表示されます。

3. 基本操作

3-12　未使用者状況検索

設定した期間中に<u>使用されていない</u>利用者／USBメモリを検索することができます。
必要性のない USB メモリの抽出や、紛失管理等にご利用いただけます。

1. メニューページの[未使用者状況検索] をクリックします。



2. 検索画面が表示されますので、検索条件、ソート条件を設定し、[上の条件で検索]をクリックします。

メモ

検索条件の項目を選択しなかった場合は、以下の通りの開始日が一番小さい数字、終了日が一番大きい数字が当てはめられて検索されます。

開始		終了	
年	0000	年	9999
月	01	月	12
日	01	日	31
時	00	時	23
分	00	分	59
秒	00	秒	59

たとえば、下記の条件で検索した場合は、2007 年 8 月 1 日 00:00:00 から 2008 年 12 月 31 日 23:59:59 までの期間内に一度も使用されていない利用者/USB メモリを検索結果として表示します。

2007 年 8 月 ー 日 ～ 2008 年 ー 月 ー 日
ー 時 ー 分 ー 秒 ～ ー 時 ー 分 ー 秒

3. 基本操作

3-13　グループ種別名の設定

利用者一覧の表示に使用されるグループカテゴリ名を設定します。

1.　メニューページの[グループ種別名設定］をクリックしてください。グループ種別名設定画面が表示されますので、変更するグループ名の内容を書き換え、[入力確認］をクリックしてください。グループ１のみ入力必須項目となっています。

注意	＊ グループ 1～3 は 40 文字以内で設定してください。

2.　確認画面が表示されますので、よろしければ[確定］をクリックしてください。

設定が完了すると、下記画面のように反映されます。

No	登録日	事業所	部	課	個人識別情報	USB個別ID	USBシリアルNO	有効無効	操作	削除
1	2008/05/22	入院病棟担当	メディカルクラーク担当	ケアマネージメント担当	OKDTSYDUD	USBIOU	初期登録がまだです	×	編集	□
2	2008/05/22	医療事務部	医事担当	人事担当	OKDBEYU	USBDER	初期登録がまだです	○	編集	□
3	2008/05/22	FC事業展開部門	チャネル支援担当	広報担当	KOUHO	USBNYU	初期登録がまだです	○	編集	□
4	2008/05/22	輸入交渉部門	企画担当	統括担当	KOSYDUDK	USBMJU	初期登録がまだです	○	編集	□
5	2008/05/22	生花アレンジメント部	仕入れ担当	アレンジメント担当	ARE	USBNMY	初期登録がまだです	×	編集	□
6	2008/05/22	飲食営業部	店舗展開担当	食材調達担当	OKOUKO	USBYUI	初期登録がまだです	○	編集	□
7	2008/05/22	経済部	IT部	会計部	IT	USBFRA	初期登録がまだです	○	編集	□

3. 基本操作

3-14　管理者情報の変更

Log Navi サーバへログインする際の管理者ログイン ID、ログインパスワードを変更できます。

1. メニューページの[管理者情報変更] をクリックします。

2. 変更画面が表示されますので、新しく設定するログイン ID、パスワードを入力し、[入力確認] をクリックします。

3. 変更確認画面が表示されますので、[確定] をクリックします。

4. 設定完了後、引き続き Log Navi を操作する場合には、新しく設定した ID／パスワードで再ログインを行なってください。

4.Log Navi バックアップ設定

Log Navi バックアップ設定を行なうことにより、定期的に自動でログデータを指定した場所にバックアップすることができます。

注意	
	＊ Log Navi の DB 環境（MySQL）をインストールしたコンピュータ上での操作となります。
	＊ インストールを行なった管理者権限のアカウントで利用してください。
	＊ バックアップデータの量が多い場合には、バックアップに時間がかかります。
	＊ 作成されたバックアップファイルは、ローテーションされませんので、必要に応じてバックアップファイルの削除、別媒体への移動などを適宜行なってください。

1. [スタート]→[プログラム]→[ED-CONTRIVE]→[Log Navi]→[Log Navi バックアップ設定]をクリックします。

2. バックアップ設定画面が表示されますので、バックアップを行なう曜日の「実行」にチェックをつけ、時間を指定します。
   「差分として保存」にチェックをつけると、前回バックアップを行なった後に取得したログのみをバックアップします。

3. バックアップ保存先、バックアップファイル名を指定し、最後に[設定] をクリックします。

4. アカウント情報の入力画面が表示されますので、タスクを実行するユーザのアカウント情報（パスワード）を入力し、[OK]をクリックします。

現時点のバックアップをとる場合

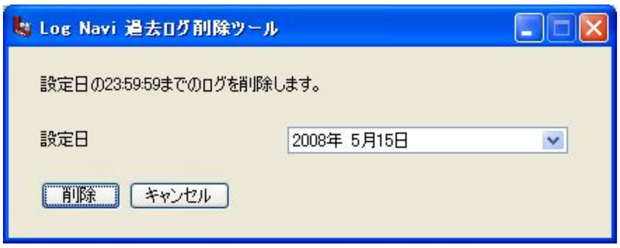
「今すぐバックアップを取得します。」の[実行] ボタンをクリックします。
バックアップ保存先、ファイル名を設定するエクスプローラが表示されますので、保存先、ファイル名を設定し、[保存] をクリックします。

5. Log Navi 過去ログ削除

Log Navi のデータベース内に保存されている過去ログを削除することができます。

注意	＊Log Navi の DB 環境（MySQL）をインストールしたコンピュータ上での操作となります。 ＊ インストールを行なった管理者権限のアカウントで利用してください。 ＊ 設定日の 23 時 59 分 59 秒までのログが削除されます。 ＊ 削除したログは、復旧できません。必要に応じてバックアップ取得後に削除してください。

1. [スタート]→[プログラム]→[ED-CONTRIVE]→[Log Navi]→[Log Navi 過去ログ削除]をクリックします。



2. 過去ログ削除ツールが起動しますので、日付（設定日の 23 時 59 分 59 秒までのログが削除されます。）を設定し、[削除] をクリックします。

3. 確認メッセージが表示されますので、削除してよければ[OK] をクリックします。

メモ	＊ ログは、サーバの許容容量まで蓄積することが可能ですが、サーバに蓄積されたデータ量が多いほどサーバの動作が遅くなる可能性があります。

6. リストア

Log Navi がインストールされている環境でのリストア方法を説明します。

注意	＊ 事前に Log Navi をインストールしている必要があります。 ＊ 下記手順は、DB 環境をインストールした PC にて実行します。 ＊ 本リストアを行なうと、Log Navi インストール時に設定した企業 ID、管理者 ID、管理者パスワードおよび USB メモリ利用者、利用者データ（ログ）がリストアデータにより上書きされます。

1. 以下のバックアップデータを、DB 環境をインストールした PC に準備します。
   1）最新のフルバックアップデータ※1
   2）上記 1）以降に作成された差分バックアップデータ※2

   ※1 フルバックアップファイル名の形式は、以下のようになります。
   lognavi_backup_all_YYYYMMDDhhmm.sql

   ※2 差分バックアップファイル名の形式は、以下のようになります。
   lognavi_backup_client_YYYYMMDDhhmm.sql
   lognavi_backup_company_YYYYMMDDhhmm.sql
   lognavi_backup_company_login_log_YYYYMMDDhhmm-YYYYMMDDhhmm_diff.sql
   lognavi_backup_log_tbl_YYYYMMDDhhmm-YYYYMMDDhhmm_diff.sql

2. スタートメニューのプログラムメニューより、[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を選択し、コマンドプロンプトを起動します。

3. 最新のフルバックアップデータを以下のコマンドでリストアします。

```
C:¥>C:¥lognavi¥mysql¥bin¥mysql.exe△-u△root△-p△lognavi_db△<△フルバックアップデータファイルパス(フルパス)↵
Enter password:DB管理者パスワード↵
```

下線部を入力してください。
△半角スペース、↵ はエンター示します。斜体箇所はお客様環境によって異なります。

1 のデータのうち、最新ファイルがフルバックアップデータであった場合は、リストア終了です。最新のファイルが差分バックアップデータ※2 である場合は、4 へ進みます。

4. 3 でリストアしたフルバックアップデータ以降に作成された差分データ全てを以下のコマンドでリストアします。

```
C:¥>C:¥lognavi¥mysql¥bin¥mysql.exe△-u△root△-p△lognavi_db△<△差分バックアップデータファイル(フルパス)↵
Enter password:DB管理者パスワード↵
```

下線部を入力してください。
△半角スペース、↵ はエンター示します。斜体箇所はお客様環境によって異なります。

5. Log Navi へログインし、正常にログが閲覧できることを確認します。

7. SD-Container Log の初期化

Container Log 管理者ツールで行った設定を SD-Container Log に反映する場合や、パスワード忘れ等へ対処するためには、初期化ツールを使用して SD-Container Log を初期化する必要があります。SD-Container Log は、Log Navi サーバと通信するための情報を USB メモリ内に保存するため、初期化の実施には留意が必要です。

通常の初期化と完全初期化について

＜通常の初期化＞

パスワードと USB メモリ内に保存したデータは削除されますが、Log Navi サーバの初期登録情報は保持されます。初期化開始・終了はログに記録されます。

＜完全初期化＞

工場出荷状態に戻ります。管理者による Log Navi サーバへの利用者の再登録と、利用者での USB メモリの初期登録を再度実施する必要があります。また、完全初期化は登録情報も削除されるため、ログには残りません。

SD-Container Logのパスワードを忘れてしまったときは？

「完全初期化」ではなく、通常の初期化を実施してください。

注意	＊ 初期化した場合は、パスワードがリセットされ、USB メモリに保存したデータが削除されます。

誤って完全初期化してしまった場合は？

完全初期化すると、工場出荷時に戻ってしまうため、SD-Container Log の初期登録が必要となります。対象利用者を削除後、再度対象利用者と同じ個人識別情報、USB 個別 ID を登録し、同一 SD-Container Log を使用して初期登録を実施してください。完全初期化する前後の情報が一致するため、同一利用者として継続して管理が可能になります。

メモ	＊ 利用者によって安易に完全初期化が行われないように、通常の初期化しかできない初期化ツールを配布することを推奨します。完全初期化可能な初期化ツールは必要に応じてご準備ください。

8. ユーザー登録・サポート

Log Navi のユーザー登録は下記 Web ページより受け付けております。ユーザー登録済みのお客様には、本製品に関する情報などをメールにてご連絡いたします。また、本製品に関するサポートを希望するお客様は、必ずユーザー登録を行ってください。

http://www.safety-disclosure.jp/user

Log Navi についてのお問い合わせは下記、サポートページ経由でご連絡ください。

http://www.safety-disclosure.jp/user/support/